

漁況予報 い わ し

第181号

【2014年1～2月漁期】

※1 平年：過去5年平均

※2 被鱗体長：口先から尾ビレの付け根までの長さ

= 概 況 =

【マイワシ】

主要定置網におけるマイワシ総漁獲量は、11月は1.4トンで前年(1.1トン)並みで平年※¹(15トン)を大きく下回りました。12月は10トン(速報値)で、不漁の前年(9.3トン)並みで平年※¹(53トン)を大きく下回りました。

まき網は、11月に相模湾側で1ヶ統が約20トンの水揚げ(ウルメイワシ等含む)があり、12月は東京湾側も相模湾側も漁獲はありませんでした。

魚体は、2ヶ月とも15-16cm0歳魚(2013年生まれ)主体に僅かに大羽混じりでした。

【2013年概況】神奈川県における2013年のマイワシ漁獲量は、主要定置網260トン、まき網238トンの合計498トン(速報値)で、前年(720トン)および平年(2,276トン)を大きく下回りました。これは前年同様、春シラス漁におけるマシラスの混獲率が低く、夏季以降に漁獲される0歳魚(2013年級群)の漁獲量が伸びなかったためです。一方、沖合域における2013年級群の資源水準は比較的高いと考えられることから、今後本県沿岸にも来遊することが期待されます。

【カタクチイワシ】

主要定置網における11月のカタクチイワシ総漁獲量は26トンで、低調ながらも不漁の前年(1トン)及び平年(0.5トン)を上回りました。つづく12月の漁獲量(速報値)は36トンで不漁の前年(2トン)を上回りましたが平年(50トン)を下回りました。鴨居地区及び佐島地区(1ヶ統)のまき網は餌イワシとして漁獲しました。

魚体は、5-7cmの未成魚が主体でした。

【2013年概況】神奈川県における2013年のカタクチイワシ総漁獲量は、主要定置網2,006トン、まき網795トンの合計2,801トン(速報値)であり、前年(3,115トン)及び平年(3,240トン)をやや下回りました。5月のみ大型成魚主体に非常に多くの来遊量が(1991年以降、2番目)ありましたが、他の月は低調に推移しました。カタクチイワシ太平洋系群の資源は2003年をピークに減少傾向にあると推定されており、本県でも2008年以降、8月からの来遊量が極端に減少する、いわゆる資源低水準期の漁獲傾向にあります。今後も資源動向に注視していく必要があります。

【シラス】

相模湾のシラス船びき網によるシラス漁獲量(標本船データより推定)は、11月は前

年を若干下回り平年並み（前年比 0.7 倍、平年比 1.0 倍）、つづく 12 月は前年、平年を
やや上回りました（前年比 1.3 倍、平年比 1.6 倍）。

【2013 年概況】神奈川県における 2013 年のシラス総漁獲量（標本船データからの推定
値）は、前年および平年並みの 481 トンとなりました（前年比 1.0 倍、平年比 0.9 倍）。
春季（3～6 月）は前年よりは良かったものの相模湾全域で不漁でした。7 月以降は江ノ
島以西で好漁傾向が年末まで続きましたが、湾の東側ほど芳しくなく 9 月を除き前年を下
回りました。。

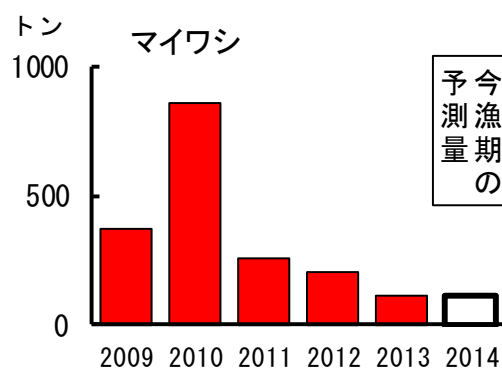
= 予 報 =

過去 5 年の 1・2 月漁期の漁獲量と今漁
期の予測量

【マイワシ】

今漁期は、2013 年生まれの小羽マイワシ
（12～16cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、マイワシ太平洋系群の資
源量の推移から、前年並みの約 115 トンと予
測されます。

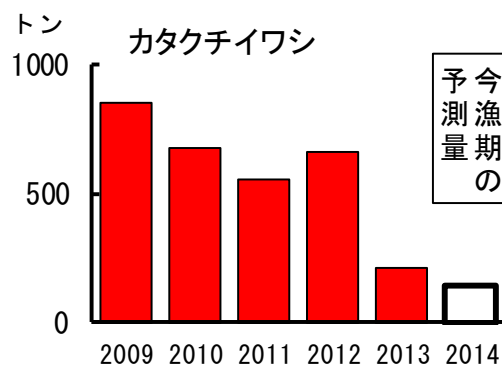


※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【カタクチイワシ】

今漁期は、前半は 2012,2011 年生まれの大型成魚（12-14cm）、後半は 2013 年生まれの
未成年魚（7-8cm）が漁獲の主体となるでしょう。

今漁期の漁獲量は、11-12 月の県内主要定
置網の漁獲量から、前年をやや下回る約 145
トンと予測されます。



※グラフ縦軸：主要定置網+まき網

【シラス】

神奈川県の上りしらす漁は、1 月 1 日から 3 月 10 日まで禁漁です。当所では解禁後の漁況
予測のため、神奈川県上りしらす船曳網漁業連絡協議会の協力により、今年も 1～3 月に禁漁
期調査を実施します。調査の状況については、次号で報告する予定です。

神奈川県水産技術センター企画資源部
三浦市三崎町城ヶ島 (046) 882-2312